

フクシマ2年

さようなら原発

全国各地でいっせいに巨大デモ、集会、パレードが行われます。

つながろうフクシマ!
さよなら原発 大集合



3/9

東京・明治公園
SAT 11:00 ~

主催：さよなら原発一千万人署名市民の会

3/10 原発ゼロ☆大行動
SUN

13:00 ~ 東京・日比谷公園野外音楽堂
17:00 ~ 19:00 永田町・霞が関一帯
主催：首都圏反原発連合



1/25

脱フカイ!
ユカイなモチセンキョ
開催!

昨年11月25日に東京の日本教育会館にて「脱フカイ!! ユカイなモチセンキョ」を開催。

トークでは、ゲストの田中優さん、山田玲司さん、藤波心さんに加え、緑の党からは長谷川/高坂共同代表と坂田昌子が絡み、市民視線でわかりやすく笑いを交えながら政治を語りました。ライブゲストは、ソーラー電気のみで武道館ライブを行った佐藤タイジはじめシアターブルックのメンバー3人。テクニクに裏付けされたアドリブ演奏で、会場はダンスフロア化し、老いも若きも障がい者も健常者も踊り酔いしました。緑のプロジェクトの絵(井上ヤスミ作)と朗読、参院選候補者すぐる奈緒の発表、飛び入りした宇都宮健児さんのスピーチなどテンポよく進み、ユカイな余韻を残しながら3時間にわたるイベントを無事に締めくくりました。ある新聞記者から「政イベントとは思えない斬新さで、笑い、学び、楽しかった」と感想をいただくほどの盛り上がりでした。

緑の党
Greens Japan

〒166-0003 杉並区高円寺南4-7-1
藤和シティコープ春木屋ビル202
TEL 03-6454-6068
FAX 03-3318-6063
E-Mail greens@greens.gr.jp
<http://greens.gr.jp>

カンパ募集中

2013年 参議院選挙挑戦!

郵便口座 ゆうちょ銀行 口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からの振り込みの場合 当座預金(店番号019) 口座番号:262967

3.11から2年 福島は苦悩は今も続いている。

蛇石郁子(郡山市議会議員・緑の党運営委員)



東

京電力福島原発震災からまもなく2年を迎えようとしていますが、福島県民の生活は依然として不安を払拭できるものではありません。

原発からは毎日1000万ベクレル、毎日2億4000万ベクレルの放射性物質が環境中に放出されていますし、福島県沖地震も度々あり、その度に原発4号機は大丈夫かと心配になります。そして住み慣れた故郷を離れている人たちは今なお10万人を超え、賠償も遅れ、県外自主避難者への住居支援は、昨年末で打ち切られたままです。

国

や県は低線量被曝地域での居住・帰還を奨励し、山下俊一福島医大副学長・県民健康管理調査検討委員会座長は「子どもの甲状腺がんは原発事故由来ではない」と唱えています。県民健康管理調査の秘密会、鮫川村瓦礫実験焼却場、除染した樹木を川に流したりする作業の杜撰さや除染作業労働者の賃金ピンハネ、はたまた少年を除染作業に従事させていたなど原子力ムラを支える一兆円も除染マネーは動いても、住民や労働者を被ばくから守る対策は、企業丸投げをして極めて疎かです。指摘されても実態調査に消極的であり、次々と明るみにされる国・県の杜撰な対応に呆れるばかりです。

昨年末の衆議院選挙後、安倍自民党が政権に復帰して、原発再稼働・新増設・核燃料サイクルの護持・脱原発の撤回など、国民の意思と乖離した政策展開を公言し、経済人・政治家・マスコミ・原子力ムラが堂々と巻き返しにかかっています。それは、福島県民の心情を逆撫でし、言いようのない悲しみ悔しさ怒りを

昨

年、私たちは福島原発告訴団を結成し、全国から約15000名が福島地検に告訴・告発状を提出しました。甚大過酷な福島原発事故の責任が正しく追及され、被告告訴団人が起訴されることを望んでいます。緊急署名活動も2月15日第1次締切が始まりました。この他、原発事故子ども被災者支援法の具現化、IAEA福島研究機関の監視、予防原則に基づいた県民健康管理調査と情報公開・検討委員会の適正化、放射性廃棄物拡散防止などいくつもの課題が残っています。

新しい民主主義の社会を作るため、子どもたちの健康と未来を守るために今年も全力を尽くし福島から発信していきますので、どうぞご支援下さい。

福島原発告訴団 <http://kokuso-fukusimagenpatu.blogspot.jp/>



ドイツ緑の党大会参加報告 脱原発を決めたドイツ緑の党の新たな挑戦

長谷川羽衣子(緑の党共同代表)

ドイツ緑の党大会に招待され、漢人明子さん(運営委員長)、郡山昌也さん(国際局長)と共に参加して参りました(2012年11月16日、18日、ハノーファー)。ドイツ各地の支部を代表する代議員800人以上と、その他の会員、メディア関係者などを含む1500人が広大な会場に集まり、朝9時から夜中2時まで活発に議論していました。6万人の党員を抱えつつも総会議案(理事會提案)に対する修正案を当日朝まで受け付けるという、参加型民主主義の徹底ぶりに大変感銘を受けました。

最終日には私・長谷川がスピーチの機会をいただき、原発事故後の日本の現状を伝えました。また、選挙の供託金がいかに高額かを訴えると、会場から大きなどよめきが起こりました。最後に、この大会で得た希望を持って、7月の参議院選挙に挑戦することを宣言すると、会場の人々が立ち上がり、大きな拍手を送って下さいました。

ドイツ緑の党の躍進は、原発のない社会を目指す私たちにとって大きな希望です。私たちが国会への第一歩を刻むことは、韓国や台湾をはじめとする、東アジアの緑の仲間たちの希望となるでしょう。

結

成以来一貫して反原発を掲げて来た緑の党は各地の選挙で躍進し、40年以上にわたって保守党の牙城であったバーデン・ヴュルテムベルク州で初の州首相を誕生させました。ペンツなどの拠点であるドイツ工業の中心地を制したクレッチマン州首相は、脱成長ではなく、環境と雇用を両立させる「真の経済政策」の必要性を語っておられました。

緑 GO GREEN でいこう

太郎さんに希望を見出した人が投票したんです。
希望を見出せる政党や候補者が出たら投票したい人はたくさんいると思う。

参院選で

脱原発の民意を示そう 緑の党を国会へ

対談：すぐろ奈緒(緑の党共同代表・杉並区議) × 山本太郎(俳優)



参議院選は、
原発推進への舵を、
どのくらい**脱原発**の方向に
戻すことができるか、
大きなチャンス!

すぐろ奈緒共同代表



山本太郎さん



1 脱原発の受け皿を作りたいかった

すぐろ 昨年の総選挙はお疲れさまでした。今、振り返ってどうですか？
山本 一議席を取るだけではない目的が僕にはあった。解散前からのかなりの偏向報道があつて、特定の政党しかテレビに出てこない。自民、公明、維新、そしてみんなの党、それしかこの国には存在しないかのような報道が続いていて、「まずいな」と思っていた。だからもう一つの受け皿を作りたいと思っていた。
脱原発を支持している人たちに、比例の名簿で応えられる受け皿。どこに投票したら良いかわからなくなっている人たちに、「ここに投票したらいいんだ」という受け皿を作れたらと思っていた。いろんな形で出ていた比例名簿の構想、いいところまで行つたけど解散が早まりすぎて、途中であきらめちゃってみんな散り散りになった。でも僕の中ではギリギリまで諦めたくないかった。緑の党も提案していましたよね。
すぐろ 私たちも東京比例ブロックで、「脱原発」という名称で挑戦して「脱原発と投票用紙に書こう」という選挙を、いろんな人と相談していました。解散が早まって実現できなかった。解散が

2 「新党今はひとり」の立ち上げ



総選挙、街頭でアピール

山本 そしてテレビは偏向報道が加速する状況で、「今、自分に何ができるのか」と考えた。命を売る者と、命を守る者の二極の闘いなんだ、という本場の選挙を知ってもらいたい、自分が立候補することで話題になり、選挙を利用してたくさんの人に伝えたいと思った。一議席をとる前に、そういう思いがあつた。だから「新党今はひとり」も僕の立候補もギリギリになってしまった。

3 直前の東京・杉並区からの立候補

すぐろ それで最後の決断として東京・杉並区から出た。
山本 そうですね。相手が強い選挙区、注目度の高い選挙区で出たいという気持ちがあつた。橋下さんが出馬しない場合は、相手は石原軍団だろうと思つていました。しかも脱原発統一候補として出たかった。共産党にも選挙の前日に調整に行つた。調整と言っても「僕出るんで降りてくれないか」ということなので凶々しい態度ですよ、ほんとに(笑)。杉並区でも少し混乱を招いてしまった。それはお詫びしたい。僕の立候補が一月月早ければ、一本化できた可能性があつたのではないかな。そうすれば一騎打ちで、倒せた可能性もあつた、と思う。調整と同時に、「事務所どうする、ないわな」「杉並だったら高円寺じゃない」と話していた。ちょうど総選挙について意見交換してきた緑の党の事務所が高円寺にあつたので、「貸してもらえませんか？」と相談したら、すぐにOKしてくれた。
すぐろ 運命的ですね(笑)。選挙に届出に行くのに、連絡先もなかったんですよ。

4 必死さが有権者に伝わった



山本太郎(左)とすぐろ奈緒

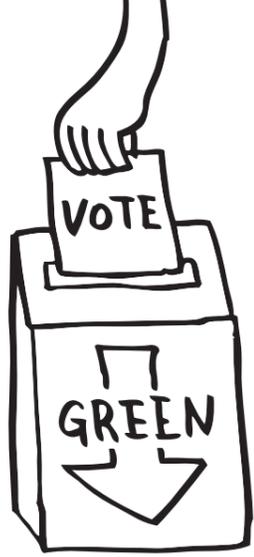
すぐろ でも必死さが、選挙の時に有権者にも伝わったのだと思います。他の政党だったら振り向かず聞きもしなかったTPP反対、消費税反対、脱原発、脱被ばくの主張も、太郎さんだったから振り向いた。12日間いっしょに選挙をやつて、それを強く感じた。太郎さんのメッセージに「私もそう思っていた」と共感している雰囲気があつた。伝えた功績は大きいと思う。街頭演説に、常時1000人近くの人が真剣に聞いていて、毎日200〜300人の人がカンパする選挙を見たことも聞いたこともないですよ。
すぐろ 総選挙は、脱原発が争点として投票されたわけではなくて、脱原発の世論とはまた乖離があると思います。しかし原発推進の自民党政権が復活してしまつた。太郎さんは総選挙の結果をどう思われていますか。
山本 僕自身の結果には落ち込まなかつた。7万票を超える得票は、逆に希望が持てましたね。この短期間に、一つの選挙区だけで7万人の人が同じ方向を向いていることを確認できたのは、すごく大きいなと思つた。だけど開票結果全体を見て落ち込んだ。他のところを見たらときに落ち込んだんですよ。

5 参院選、可能性のあるのは緑の党

山本 今回の結果を受けて、棄権した人たちも焦つていると思う。ちょっと待ってくれと。こんな結果では困る、と。次の参院選はチャンスですよ。原発推進に舵を切られているわけだから、これをどのくらい脱原発の方向に戻すことができるか、大きなチャンスだと思います。衆院選は民意ではなかつた、参院選の結果を見てくれ、という結果にしたい。
すぐろ 棄権した人たちに、今度は投票に行つてもらおう。
山本 緑の党は参院選に挑戦するんですよ。
すぐろ はいそうですね。新しい政党に対する参入障壁、6000万円の供託金が必要で、大変ですが必ず挑戦します。
山本 6000万円か、自分たちを守るために、悪いことには賢いですね。
すぐろ 太郎さんは、どうですか。
山本 ラストチャンスですね、次は3年後の参院選まで選挙がない、あまりにも危険すぎる。大資本の思うままですね。いろんな党があるけど、そんな中で緑の

党は筋が通つたことを言っている。残念ながら現職の国会議員がいなくて、たくさんの人たちに知られていないけれど、骨のある人たちに国会に行つてもらおうことは本筋に大事だと思う。心ある人に議員になってほしい。市民のために動きまわす、私も市民ですから、という人たちに議員になってほしいし、その可能性があるのが緑の党だと思う。僕は解散する前に、現職の議員を緑の党に入れようとしていた(笑)。すぐろさんには、ぜひ国会に行つてほしいな。
すぐろ 太郎さんと行けたら、ほんとに大きな影響力を発揮できると思えます。今日はお忙しい中、ありがとうございました。(1月29日)





参議院選挙まで

150日!

今年7月、緑の党は議席と政党要件の獲得を目指し、初めて**参議院選挙に挑戦**します。
 私たちは、**比例区**で「緑の党」としての挑戦に向けさらに準備を重ねます。
 脱原発や「緑的理念」を共有する市民や他政党(政治団体)と連携し、
 選挙区をはじめ様々な協力の可能性に向けた意見交換や議論も積極的に進めていきます。

(2013.1.13 緑の党全国協議会)

4/6 SAT

発表 市民発「緑の党」が国会へチャレンジ! 参院選候補者リストと緑のプロジェクト

- 場所** YMCAアジア青少年センター 9Fホール **同時開催** 緑をパワーアップ!パーティ
- 時間** 18:00~19:30 **20:00~21:30** (軽食・ワンドリンク2000円)
- 参加費** 会員サポーター無料・非会員500円
- 候補者全員集合! リスト発表とアピール
 - 選挙公約「緑のプロジェクト」発表

4/13 SAT 希望は「緑」 さあ参議院選挙へ

- 場所** 龍谷大学響都ホール (JR京都駅八条東口徒歩1分)
- 時間** 13:00~17:00
- 公開シンポジウム**
- テーマ: 脱原発 地域経済
 ゲスト: ドイツ緑の党国会議員(予定)
 ハインリッヒ・ベル財団派遣の講師
- 参議院議員選挙候補者発表



5/7-26 北から南から 緑でいこう! 原発ゼロ 全国キャラバン

- 北からコース**
5/7(火) 14:00 北海道旭川市・四条買物公園出発 ~ 5/26(日) 東京到着
- 南からコース**
5/7(火) 9:00 沖縄県庁前 9:30 鹿児島県庁前 ~ 5/26(日) 東京到着

5/26 SUN キックオフ! イベント 希望は「緑」! 緑の党を国会へ!!

- 場所** 杉並区産業商工会館 (JR阿佐ヶ谷駅 南口徒歩5分)
- 時間** 18:00(開場) 18:30~21:00
- 参加費** 1000円(会員・サポーター無料、貧困者割引あり)

- プログラム**
- 候補者発表とアピール
 - 選挙公約&メインメッセージ発表
 - ドイツ緑の党から連帯メッセージ

GOODS

マグネットシート



長方形型: 3,000円(縦3cm×横7cm)
 正方形型: 2,000円(縦3.64cm×横3.64cm)
 送料: 実費(宅急便)

缶バッジ



1個 200円(丸型: 直径約4cm 角型: 一辺約4cm)
 送料: 20個まで100円(メール便)
 21個以上実費(宅急便着払い)

街宣用のぼり

昨

年末の衆議院選挙では、原発を推進して来た自民党が、あたかも何事もなかったかのように政権に返り咲きました。これは決して脱原発を願う大多数の民意を反映したものではありません。ゆがんだ選挙制度を味方につけ、得票数を大幅に減らしながらも彼らは大多数の議席を獲得したのです。

福島原発事故は無数の人々の人生を暗転させました。しかし、その責任を問われるべき自民党の安倍首相は、謝罪するどころか原発推進を明言し、新たな原発の建設にまで言及しています。自民党の議員の多くが電力会社の幹部から多額の献金を受けていることは周知の事実であり、その一部は原発の「潜在的な核抑止力」をも主張しています。さらに彼らは、平和憲法を「改正」して軍備を進める一方で、環境破壊型の公共事業によって、子どもたちの世代に莫大な負の遺産を押し付けようとしているのです。

7月の参議院選挙は日本にとって大きな岐路となるでしょう。

自民党が衆議院だけでなく参議院の多数を確保すれば、平和と安全を切り崩す勇ましく愚かな政策を、思うがままに進めてゆくこととなります。

私たちは昨年7月28日、平和で持続可能な社会の実現を志し、市民による新しい政党・緑の党を結成しました。日本の各地で確実に、緑の希望が芽吹きつつあります。今こそ、私たち市民が自らの手で政治を担うため、立ち上がり挑戦する時です。観客席から眺めるのではなく、舞台上上がり、新しい政治の幕をあげなければなりません。

参議院選挙まで200日。先進国には他に例を見ない300万円、600万円もの選挙供託金の、高く、厚い壁を乗り越えることも決して容易なことではありません。原発をなくし、本当の民主主義を実現するためには、もつと多くの力が必要です。誰かに任せるのではなく、自らの手で未来をつくるため、ともに立ち上がりましょう。



3/17 開票 第2次予備選挙 7名が立候補

広島	大阪	兵庫	愛知	兵庫	京都	東京
さとしゅういち 緑の党・ひろしま 共同代表	山崎博文 梅花高等学校 理科非常勤講師	山田みち子 前兵庫県議会議員	尾形慶子 緑の党・東海 共同代表	松本なみほ 環境政策 コンサルタント	長谷川羽衣子 緑の党 共同代表	杉原浩司 脱原発担当

緑の党は、女性を半数以上とするクオータ制と会員による予備選挙を取り入れ、多様性とジェンダーバランス、地域バランスなどを重視した10人の候補者を立てて参議院選挙に挑戦します。予備選挙はすでに昨年末第一次が行われ、すぐる奈緒さんが選ばれました。そして、現在第2次予備選挙が行われています。2月15日立候補が締め切れ、4名の定数に7名が立候補しました。

全国遊説や記者会見、インターネット配信による政見放送も行います。
 3月13日には投票がしめぎられ、全国協議会を経て当選者が発表されます。注目ください。
 候補者についてHPで公表されています。動画での配信もされます。ご覧ください。

世界一高い供託金に負けないぞ!

めざそう! 選挙資金 億円カンパ

参院選比例区の供託金は1人600万円。10人の候補を立てなければならないため、選挙に出るだけで6000万、選挙資金を含めると最低でも1億円……新しい政党の大きな参入障壁となっています。この壁を越え、制度を変えるためにも、カンパにご協力お願いします!

一口1000円、10万口で1億円!

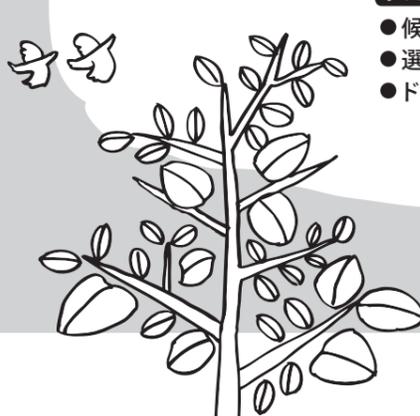
現在 約3000万円 ▶ 3月末5500万円 ▶ 6月末8000万円 ▶ 7月末 1億円

世界の供託金

ドイツ	イタリア	フランス	アメリカ合衆国	北欧諸国	ゼロ
ニュージーランド	オーストラリア	カナダ	イギリス		2万~9万
日本				選挙区 300万	比例区 600万

賛同者を募集中 2013緑の党を国会へ!

「原発」と「おまかせ民主主義」にサヨナラ 「緑の党」をつくり、国会へ!



地域の“緑”が動き出す。

緑の党結成と前後して、全国各地で“緑の地域組織”が生まれ、動き出しています。

“緑の地域組織”はそれぞれ独立した組織です。緑の党との関係も対等です。

緑の政治を、地域から、そして全国レベルで実現していくため、

緑の党は“緑の地域組織”と連携しながら、活動しています。

各地からのメッセージを紹介します。

緑の党では、都道府県のすべてに参議院選挙に向けた“窓口”開設の準備を進めています。整いましたら、ホームページでお知らせします。身近な“窓口”にお問い合わせいただき参議院選挙を地域からご支援ください。

緑の党・ひろしま

2012年10月21日、発足しました。ヒロシマ・ナガサキからチェルノブイリ、そしてフクシマへとつながった核の被害をこれ以上出したい。そして、戦争だけでなく様々な意味での暴力がない、平和な世界をつくる。このような思いで、30代・40代の若手3人の共同代表を中心に、勉強会等の地道な活動を積み重ねていきます。2013年参院選で、ヒロシマの心が国会に届くよう、がんばります。
TEL 090-3171-4437(佐藤)
Mail greenshiroshima@yahoo.co.jp

みどり福山

3.11後、「脱原発の、その向こうへ行こう。」という呼びかけにより、「みどり福山」を結成しました。これまで脱原発、国際関係、多文化共生などのテーマで学習会を重ね、2013年4月には第1回総会と記念行事を計画しています。ちなみに福山といえば、潮待ちの港・鞆の浦で知られています。参院選では、瀬戸内のド真ん中にあるこの福山から、市民パワー全開で「緑の潮流」を巻き起こしていきたいと思えます。
TEL 090-9115-3317(坂田) Mail sakatakouei@livedoor.com

みどり・香川

2004年の「みどりの会議」の参院選の際に発足した「みどり・香川」は2009年、それまで連携して活動してきた「女性を議会に！みんなと政治をつなぐ会」と合流しました。その後、緑の党の設立を受けて2012年12月には、その地域連携組織としてのキックオフイベントを計画していましたが、総選挙期間と重なってしまったため延期となりました。今後、脱原発を目指す人たちが幅広く参加できる組織をめざして活動を続けたいと思っています。
TEL 090-1004-8529(渡辺)
Mail satoko.watanabe@nifty.com

みどり福岡/緑の党・九州連絡協議会

みどり福岡では、緑の党・おおいたやそのほか九州の皆さんと連携し、7月の参院選に向けて「九州から緑の党の国会議員を誕生させよう」と会議を重ねております。ただ、同じ「九州」と言っても、一同に会するのはなかなか難しいくらい物理的に距離が離れているのが現状です。しかしその壁を乗り越えて、7月の参院選を機に九州のネットワーク化が進めば…と思います。暫定的に昨年9月に「緑の党・九州連絡協議会」を立ち上げました。九州の皆さん、九州連絡協議会の仲間に加わりませんか？
TEL 090-6426-0901(本河)
Mail greens_fukuoka@yahoo.co.jp

みどり熊本設立準備室

2004年にみどりの会議で選挙に取り組んだ時にはたくさんの方々が集まりました。それ以降は、それぞれがNPOや地域おこしに取り組んでいます。残念ながら熊本ではまだ地方組織がありません。しかし、誰かが組織を立ち上げるのを待っていてもグループは立ち上がりません。そろそろ、緑の党を勝手に応援するサポーターグループ(みどり熊本)の設立へ向けて動いて行こうと思えます。
TEL 090-6421-9270(二見) Mail kfutami@ybb.ne.jp

緑の党おおいた

ここ大分でも「変化を起こしたい」と思う多くの人々の思いと共に「緑の党おおいた」を立ち上げました。衆議院選挙の投票率を見ても分かる通り、政治に国民が関心を持ってない現状こそ大きな課題なのだと思います。道のりは長くとも地方で緑の候補を更に擁立させることで、成熟された政治文化を生み出したいと考えます。共同代表神田京子さんが大分市議会選挙に挑戦します！ワールドシフトはまだ始まったばかり。Be the change!
TEL 097-529-5030(小坂) Mail nonukes@able.ocn.ne.jp

きょうと緑の党

きょうと緑の党は、昨年3月に準備会発足、同12月に正式結成し、現在100名超で活動しています。京都北部に原発30キロ圏を抱え、東北・関東からの多くの避難移住者が暮らす「地元」として、脱原発だけでなく、その先の地域づくりについて、人々の暮らし、なりわい、未来に寄り添った具体的な政策実現を目指しています。今夏の参院選をステップに「緑の地域政党」として、京の地域政治への登壇にチャレンジします。
TEL 075-202-7584(長谷川)
Mail midori.no.kyoto@gmail.com

緑の大阪

「緑の大阪」は、2012年8月19日、大阪の地から「緑の党」を支え育てることを目的として発足しました。今年には「脱原発」「ガレキ広域処理反対」「反弾圧」の市民の動きと連携し、共に運動を担います。インターネットの映像配信「みどりチャンネル関西」の放映や、会員向けの内部学習会の開催、街頭での宣伝活動なども実施予定です。今後も「緑の社会ビジョン」の実現と、誰もが伸びやかに生きられる社会をめざして全員で力を合わせて頑張っていきます。
TEL 072-695-1313(野々上) Mail kumasan@nonouei.net

緑の党ひょうご

1995年に阪神淡路大震災を経験した私たちは、物質的・経済的豊かさだけでは命や未来を守ることができないと痛感し、緑の政治実現に向けた運動に携わってきました。そして3.11を期に、脱原発運動を通じて政治の危うさに気付いた仲間が加わり、2012年11月22日「緑の党ひょうご」を設立しました。毎月第3木曜日にオープン学習会と定例会を重ね、7月参院選での緑の議席獲得に向けて、2次予備選候補者応援、メンバー拡大、緑の党の知名度アップをはかります。
TEL 090-8528-2507(松本) Mail hyogo.greens@gmail.com

みどりの未来・尼崎

みどりの未来・尼崎 兵庫県議1人、尼崎市議4人(計5人のうち4人は緑の党会員)を中心にして、昨年7月に発足しました。発足後、エネルギー問題、高齢者福祉・アスベスト問題、住民自治をテーマに3回シリーズのみどりの政治塾を開催。関西の緑の党地域組織と連携し、ガレキ問題で大阪市に申し入れたり、税の不正減免問題で尼崎市に申し入れるなど、市民に改革を先導するグループとの認識を持ってもらうため、積極的に活動しています。今年、参議院選挙前に尼崎市議選があり、まずは市議選で全員上位当選を目指します。それが参議院議員選挙に繋がるものと信じています。
TEL 070-5661-9030(丸尾) Mail midorimiraiama@gmail.com

みどり奈良(準備会)

私たち「みどり奈良(準備会)」はまだヨチヨチ歩きです。昨年12月29日に初めて顔合わせをしました。豚汁やおにぎりを頂いたりしてほっこりしながらの初対面でした。出会ったばかりの私たちですが、地道な活動を通じて信頼関係を育み、異なる意見にも心を開いて耳を傾けることが出来るような、本当の意味での仲間になっていきたいです。メンバーは随時募集しています。よろしく!
TEL 0774-26-6742(谷口) Mail sashaeiko@hotmail.com

緑の党の参議院選挙を支援する岡山実行委員会

7月参院選に「緑の党」の議員を誕生させるために、横田えつこ岡山県議会議員・鬼木のそみ岡山市議会議員を先頭に、実行委員会的な組織を発足させ、全県的に取り組んでいきたいと考えています。都市圏ではない地方においていかに「緑の党」を浸透させていくかは、かなりの工夫が必要です。県議選・市議選での経験を基礎に、地道に協力者を広げていくとともに、広く知ってもらうための多様な試みが求められていると思います。
TEL 086-244-7721(事務所)
Mail e-yokota@po1.oninet.ne.jp

グリーンズ千葉

2004年参院選「みどりの会議」からの仲間新しい人たちが加わり、昨年10月に改めて結成。鴨川自然王国の加藤登紀子さんも、応援に来てくださいました。人びとも大地や海も、深刻な放射能汚染に打撃を受けた被災地の一つとして、原発ゼロは待たないのテーマ。今夏の参院選へ向けて県内ネットワークの整備を急ぎ、「今度こそ」国政へ！自然環境に恵まれ、豊かな農業・漁業が根づいた千葉。潜在的な「みどり」の土壌が、ここにはあると信じます。
TEL 047-360-6064(吉野)
Mail smilemotosmile@yahoo.co.jp

グリーンズ東京

グリーンズ東京は、2012年10月にスタートした東京在住の緑の党会員・サポーターの集まりです。これまで、池袋での緑の党宣伝の大街宣戦、上映会(オープン)、緑の党会員の選挙活動支援など、様々な活動を行ってきました。今後は、緑の党参院選挑戦に全面的に協力すると同時に、様々な層の人々が政治や社会を語る「広場」を提供できるよう、ユニークな企画を提案していくつもりです。
TEL 090-6001-9048(木村)
Mail fumifumi-happy@dk9.so-net.ne.jp

みどり三多摩

東京の三多摩地域(市町村部)で8年前の「みどりの会議」参議院選挙に取り組んだネットワークを発展させ、2006年から活動しています。基本政策に賛同する市民と自治体議員あわせて50人程度の小さなグループですが、東京の緑の党の活動の中心を担う人が多く参加しています。今年の参議院選挙に向けて緑の党との連携をさらに強め、3月までに地域で500万円カンパ・700枚ポスター貼り出しを目標に呼びかけています。
TEL 042-316-1619(事務所) Mail ZWS00446@nifty.ne.jp

緑の党神奈川連絡会

神奈川は、現在緑の党会員とサポーター合わせて100人近くの仲間がいます。まだ「緑の党神奈川連絡会」という緩やかな集まりですが、緑の党を地域に広めようという前に、緑の政治塾を作り出そうと「緑の政治フォーラム」が先行して進められているところです。今年7月の参院選への取り組みが最大のテーマです。今年1月14日に開かれた定例会では、衆院選の総括も含め、「参院選では脱原発等政策に具体性を持たせなければ」とか「まずは候補者を立てられなければ他との連合は考えられない」といった力強い声もありました。
TEL 044-833-3433(猪股) Mail mieinomata@aol.com

緑の静岡(準)

静岡県内の緑の党の設立準備は、三島市、沼津市、静岡市、牧之原市の市議会議員と県内各地の旧「みどりの未来」のみなさんと、3.11以後に脱原発運動から参加した新しい方々との連携で進もうとしています。昨年9月8日に高坂勝さんを講師に「緑の党の設立と今後」で準備会を結成、11月14日緑の党サポーターズによる「生活保護」研究会を開催、いづれも50名の盛況ぶりでした。7月参議院選挙にむけ、全県的な結成を実現していきます。
TEL 054-209-5676(事務所)
Mail chikyu_house@yahoo.co.jp

緑の党・東海

第2次予備選に尾形慶子さんを擁立し、参院選へ！「緑の党・東海」は、「緑の党」が結成された直後の、昨年8月4日に結成しました。いち早く結成はしたものの、メンバーの中に女性、若者が少ないのに悩んでおり、足取りは順調とは言えません。しかし、参院選に「東海」の候補者を擁して挑戦したいという思いは強く、1月19日の運営委員会、第2次予備選に尾形慶子さんを擁立することを決定しました。みんなで予備選を盛り上げて、参院選に突入しましょう。
TEL 0565-80-5323(小林) Mail info@greens-tokai.jp

緑の党 北海道

「緑の党 北海道」は正式な地域組織としては立ち上げていませんが、会員間のネットワークを作り、緑の党の参議院選挙スケジュールに連携協力して行こうということになりました。選挙窓口の北広島土屋英路さんが道央と道南を、旭川の久保あつこが道東と道北を担当し、各地の会員と協力して、参議院選挙を目指してチラシ配布やポスター貼りなどで緑の党の認知度を高めながら、会員とカンパを集めていくことになりました。
TEL 090-6690-1300(久保) Mail atsuko@kuboatsu.net

みどり宮城

緑の党の理念に賛同し、2006年から仙台市地下鉄東西線運動や東北電力女川原発問題等、地域の課題に取り組んできました。昨年の緑の党発足も受け、これまでの蓄積も活用しつつ仲間を増やし活動していこうと、思い新たにしています。今年2月頃より脱原発、地域経済・雇用、市民自治、震災復興等テーマごとのフォーラムを開催予定です。自治体議員のネットワーキング、選挙バックアップスクールの実施、さらに、東北一帯での連携も行っていきたいと考えています。
TEL 090-3642-4373(高橋) Mail mmmmp651@ybb.ne.jp

緑ふくしま

2011.3.11を境に福島県の状況は、大きく一変しました。大震災・津波・原発爆発・放射能汚染という過酷な状況の中、私たちは、励まし合いながら様々な活動を展開してきました。放射能から子どもたちを守ること、脱原発デモ、福島原発訴訟、原発事故子ども被災者支援法の成立などです。今夏の参議院選に向けて、脱原発・平和・男女平等・人権等の課題解決に向けて、現政治を根底から問い直し持続可能な社会が実現できるよう結集し、奮闘していきます。
TEL 080-5558-5335(銘石) Mail h-cosmos@alto.ocn.ne.jp

緑・にいがた

「緑・にいがた」は1994年発足した地域政党「市民新党にいがた」を母体としています。当時からヨ一口ッパ緑の党などの理念・政策を参考にしながら、地方議会・国政にも挑みながら活動し、昨年初、地域の緑の党会員などとともに新たに再出発し、新しいメンバーや若い力のエネルギーも得ながら活動しています。発足当初からのメンバーは高齢化していますが、全県的なネットワークも活かし、全国の仲間たちとともにがんばります。
TEL 025-230-6442(中山) Mail nakayama@jca.apc.org

緑の党・信州

2004年「みどりの会議」の選挙のときに、信州で運動したメンバーが中心となって、昨年5月に発足しました。月1回集まって、次なる作戦を計画しています。「緑の党」の運動が、信州で盛り上がるように頑張ります。今こそ「緑」。2013年を勝利の年にしましょう!!
TEL 090-7402-7866(八木) Mail yagi@shiftra.jp

みどり・山梨

2004年、「みどりの会議」伸ばそう山梨」として発足し、翌年より「みどり・山梨」として活動を続けています。地域の重要課題は、環境を破壊し原発構造にも頼る「リニア中央新幹線」の建設阻止ですが、原発即時廃炉も急がれます。私たちが本当に豊かに暮らすためには、地域が自立し『経済優先社会から、いのち優先社会への転換を!』進めることが必要だと考えます。各地の「みどり」と共に、「緑の党 Greens Japan」と連携し、国政に「緑の議員」を送りたい。そして、私たちの声を国政に反映させるべく、さらに増やしていきたいです。
TEL 055-252-0288(川村)
Mail kubota-photo@friend.ocn.ne.jp

グリーンズ茨城・準備会

グリーンズ茨城・準備会は、茨城県で環境・脱原発・放射能から子どもを守る活動などに取り組むメンバー(約20人)で、昨年末に活動を開始(設立準備中)。当面は、グリーンズカフェ(例:シェーナウの想い 上映会・交流会、勉強会)などを主に活動予定です。参院選に加え、東海村長選も応援検討中。メンバーと組織が共に、1歩ずつ成長しながら、県内各地に「緑の輪」を広めていきたいです。
TEL 090-3232-0214(披田) Mail s.hida@jcom.home.ne.jp

緑の党・埼玉

昨年の11月23日に誕生した「緑の党・埼玉」は、県内50人ほどの会員・サポーターのうち、20人ほどが参加し、活動をはじめました。今年前半の活動としては、参議院議員選挙に向けて、埼玉で「緑の党 Greens Japan」の知名度を高めること。そのために今後、学習会などのミニイベントを開催し、案内のチラシを配布することで「緑の党」をより多くの人に知ってもらい、この一点に集中して取り組む予定です。
TEL 048-731-7507(片山) Mail i-katayama@i-katayama.com

